

まさか、長男がカナダの高校に行くなんて、考えても見ないことでした。中学3年受験期に入り、夏休みに塾通いしておりましたが、知人（その方の娘さんはイギリスの中学、高校を卒業されておりました）から、娘さんの留学の話を伺い、また夏休みで帰省している時にお会いすることができ、私はすっかり、長男にも…冒険、いや修行、いや、世界に羽ばたいてほしい、と思いました。そうして、広い視野をもって自立して帰ってくることを願いました。

もしかしたら、甘ったれの子でしたから、途中で挫折するかもしれないと思いましたが、それも、本人にとっては、貴重な体験、自分を見つめるよい機会でないかと思いました。

中学卒業後、すぐに、長男は旅立ちました。あしかけ4年、色々なことがありました。その一つ一つ、高橋さんをはじめジャパンセンターの皆様が家族のように親身になって配慮くださり、おかげさまで…まさか貴大がカナダの高校を卒業できるなんて…という大きな喜びを頂きました。現在は、帰国子女での大学への入試に向かって、勉強（英語と小論文）しております。

この4年で長男は、自立心、周りの人への気配りなどずいぶん成長しました。今年20歳になり、いよいよ成人しました。

カナダに渡ってひと月め、語学学校で二度、電子辞書を盗難に遭い（保険ですぐに補償されましたが）、涙を流してすっかりしなくちゃいけないと反省していたこと。

成績が芳しくなく、転校することになり、ホストファミリーが転校先の新しいホストのところまで送ってくださり、貴大は努力家で、とてもやさしい子なんだとわが子のように頼んでくださり、応援して頂いたこと。

カナダに会いに行った私達夫婦を、バンクーバーのピザの美味しいお店、すばらしい図書館、格安で買える電気店…と わが庭のように案内してくれたこと

イエローナイフへオーロラを見るために一人旅、私達とハワイで待ち合わせした旅行・ ロッキー山脈のすばらしさ
体育のカヌーの授業で湖に落ち、眼鏡を落としたが、おぼれそうになった友達を助けたこと。

サマースクール（夏休み返上）で苦手な教科を毎日毎日特訓し、単位を取得していったこと。

クッキングの先生の手伝い（カフェテリアのランチ）をして料理ができるようになったこと

3

少しづつですが、一人異国の地で、友人、先生、ホストファミリーと親交を深め、努力を重ねてこそ目的を達成できるという体験をしたことは、今後の彼の人生に大きな力になると確信しています。

緩やかに時間が流れ、大らかな人々と過ごした、カナダの国が、とても恋しくおもうときがあるんだ、いつか、もっと成長してカナダでもまたアジアの国でも働いてみたいなと考えているという長男を、頼もしく感じます。

有限会社 ウチダ

代表取締役 内田 浩嗣